

平成22年度事業のポイント

河川事業

肝属川堤防強化対策の実施

肝属川の堤防の大半はシラスで築造されており、一般の土に比べ水が浸透しやすく、浸食されやすい性質があるため、これまで、大きな出水の時に堤防の法面が崩れたり、法面から漏水がある等の被害が起こっています。このため、大隅河川国道事務所では堤防の詳細点検を実施し、安全性が低い箇所の対策を実施することとしています。

平成22年度は、その中でも特に安全性が低く、かつ過去に被災履歴がある宮下北地区(肝付町)の堤防について、昨年度に引き続き、堤防強化対策を実施します。

整備箇所: 肝属川(宮下北地区) 堤防質的整備 L = 約300m

河川管理施設の維持管理

堤防、護岸及び水閘門等の河川管理施設は、流域住民の生命・財産を台風や梅雨期の洪水から守る重要な施設です。

このような河川管理施設は維持管理を行うことで、各施設の機能を確保し、洪水に備えます。平成22年度は、堤防の除草及び老朽化した樋管のゲートの更新等操作改善を実施します。



大型機械の遠隔操作による堤防除草



宮下第2樋管



樋管ゲートの腐食状況

刈り草配布を実施しコスト縮減を図る

堤防の維持管理に伴う堤防除草は、大量の刈り草がでます。そこで、平成14年度から畜産農家などに無料配布したところ、大変好評を得ております。資源の有効活用とともに、大幅なコスト縮減(処分費縮減)が図られていることから、平成22年度も継続して実施します。

【参考】

平成22年度除草予定面積 : 約 136万m²

(堤防除草状況)



(刈り草引取状況)



肝属川堤防強化対策

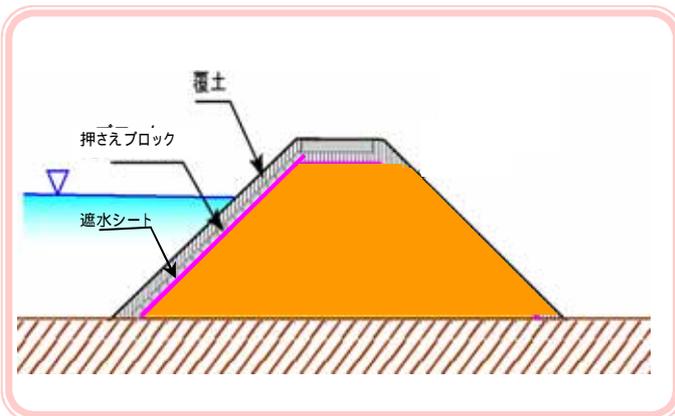
肝属川左岸宮下北地区の堤防は、シラスを多く含んでおり、過去に堤体材料が吸い出されたり、法崩れした実績もあります。平成19年度に堤防の詳細な点検と検討を行った結果でも、堤体の安全性が不足していることが分かり、この区間の堤防について早急な堤防の強化が必要です。

このため、当該地区において、昨年度に引き続き、堤防の強化対策を実施します。

【整備箇所：鹿児島県肝属郡肝付町宮下北】



堤防質的強化対策イメージ（対策工法例）



肝属川水系内における堤防被災の事例



吸い出しによる堤防の空洞化(H10.11:串良川左岸)



浸食による堤防の一部崩壊(H16.8.30:始良川右岸)

肝属川水系 平成22年度 予算整備箇所位置図

